

原子力安全対策・防災対策の取組

県では、川内原子力発電所の安全対策や防災対策として、県民の皆さまの生命と暮らしを守るため、さまざまな取り組みを行っています。

専門委員会※の開催

※鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会
川内原発の安全性や避難計画などについて、技術的・専門的な見地から意見、助言をいただいています。また、県民の皆さまへの分かりやすい情報発信に努めています。



原子力防災訓練の実施

毎年度訓練を実施し、関係機関の連携強化や地域住民の防災意識の向上を図っています。また、訓練での教訓を踏まえて、避難計画の見直しも行っています。



※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

避難経路の整備

原子力緊急事態に備え、住民の円滑な避難や一時移転のために、防災対策を強化した道路改良などを行っています。

- 道路の拡幅
- 急カーブの解消 など



安定ヨウ素剤の事前配布・配備

原子力災害に備えて、放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える効果がある「安定ヨウ素剤」を原発周辺の住民や施設などへ事前配布・配備しています。



環境放射線監視調査の実施

川内原発周辺地域住民の安全の確保と環境の保全のため、原発周辺地域における空間放射線量や環境試料の放射能の調査を行っています。



環境放射線監視センター

原子力災害時の情報伝達

原子力災害時に被災情報を集約し、円滑に避難するためのアプリを開発中です（令和3年度完成予定）。

【主な機能】

- 避難経路などの情報の確認
- 避難所などでの受付の簡素化 など



放射性廃棄物の管理状況・使用済燃料の保管状況

川内原子力発電所放射性廃棄物の管理状況(1・2号機合計)

気体廃棄物	液体廃棄物	固体廃棄物
《累積放出量》	《累積放出量》	《貯蔵量》
4.1x10 ⁹ ベクレル (令和2年4月~12月末現在)	ND(検出されず) (令和2年4月~12月末現在)	27,706本 (令和2年12月末現在)
《年間放出管理目標値》	《年間放出管理目標値》	《貯蔵容量》
1.7x10 ¹⁵ ベクレル	7.4x10 ¹⁰ ベクレル	約37,000本 ※200リットルドラム缶相当

使用済燃料の保管状況(令和2年12月末現在)

	1号機	2号機
使用済燃料(一部照射済燃料含む)	1,284体	970体
保管容量	1,868体	1,356体

原子力だより かごしま

NO.
140
令和2年度 第2号

第12回

鹿児島県

原子力安全・避難計画等防災専門委員会について

原子力防災講座 vol.2 住民への情報伝達

環境放射線調査結果

環境放射線モニタリング技術委員会開催

阿久根市 名勝・牛之浜海岸



鹿児島県